

国際理事会報告

2020年度ICD国際理事会報告

日本部会国際理事・国際会長、愛知学院大学名誉教授 千田 彰

日本部会のフェローの皆様には、日頃からICDの諸活動に深いご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。また昨年10月に予定されたICD 100周年祝賀会・2020年度国際部会につき、本年9月への延期、そして“中止”“Virtual開催”になり、種々ご協力、ご支援を頂いた日本部会に、国際会長として心より深くお詫び申し上げます。私もこの“世界的な危機”により、二期にわたり国際会長を務めることとなりました。

したがって本報告も従来とは異なることをご容赦頂ければ幸いです。ICDのBylawでは、国際理事会開催について、緊急時取り決めはなく、祝賀会・理事会を2020年に延期することを決定した時から、Bylaw CommitteeとExecutive Committeeとの間で協議を重ね、'20年度国際理事会をVirtualで、日本時間の2020

年10月29日午後8時に開催しました。この日本時間午後8時は、米国西海岸では午前5時、ニュージーランドでは午後11時で、全国際理事、本部スタッフが参加できる限界の時間でした。また会議時間も1時間以内とする必要もありましたので、会議時間中には原則質疑、動議なしとすることにしました。また議題提出を9月1日に締め切り、その後数回にわたって議題の調整などの打ち合わせを行い、各国際理事とのメール交換によって事前質疑を繰り返しました(図1)。

さらに議長(Dr. Cheung香港)、執行部、本部事務局の間でリハーサル、全国際理事へのZoom会議の技術的な説明会、リハーサルも行いました。したがって当日の会議は、議案について賛成、反対を問うもので、全理事、関係者の協力で1時間以内で終了できま

2020 Virtual Council Meeting Schedule

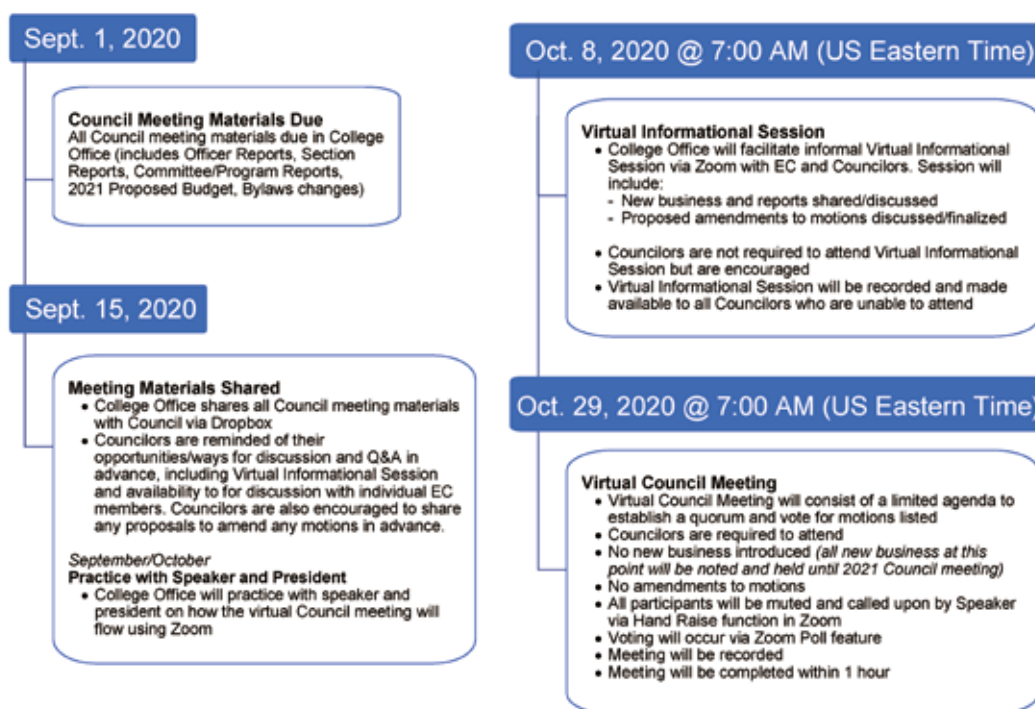


図1 '20年度Virtual (Zoom) 国際理事会の主たる公開スケジュール



図2 理事会終了後の記念撮影（スクリーンショット、一部の国際理事らのみ）

した（図2）。

本国際理事会報告は、日本部会総会に資料を提出しているの、以下に抜粋します：

- 1) 2020年11月1日付で、Secretary General（事務局長）にDr. Kenneallyが就任
 - 2) 事務局ManagerのMs. Segrenが名誉Fellowとなり、Operating Directorに昇任
 - 3) 認証式に欠席するNew Fellowへの対応は本部ガイドラインを参照
 - 4) XX部会（国際部会）のRegion43（スペイン語圏カリブ海諸島）の復活が承認
 - 5) 各部会のFellow数の増減に基づき、各部会選出の国際理事数を調整
 - 6) Dr. Ross（Master Fellow：元国際会長）にDistinguish Awardが授与
 - 7) Dr. Puttaiah(Fellow)にPresident's Citation Awardを授与
- * 本部事務局をWeb事務局とし、郵便物などの届先は現在の事務局にする
- 以上に加えその後のExecutive Committee（執行部委員会）などの報告を以下にします。
- * 100周年記念祝賀会の参加登録料について、返金あるいは寄付を各々対応
 - * ICD本部は100周年祝賀会を再企画しない（部会で



図3 Henry Schein Careからの3.6億ドルの寄付を伝えるDental Tribune（ICD提携メディア）

個々に、様々な形で実施している)

- * レバノンでの爆発事故によるSection Xのフェローの被害に見舞いを表明
- * Section XX運営について国際会長を含む特別委員会を設置
- * 本部事務局雇用職員（SG, Operating Director, Manager）の職務規程及び任期を設定
- * ICD Webinarが米国の公式CEプログラムとして承認 今後各部会への対応も考慮
- * Henry Schein Careから4億円（日本円）相当の感染予防具が寄贈（図3）
- * ミャンマーの政変に伴う混乱で、Section XIVを（慎重に）人道的支援を表明
- * （日本部会関連）宮崎 隆前日本部会会長のMaster Fellow称号授与が承認
- * 2021年度国際理事会も2020年度と同様、Virtual形式で2021年9月に開催